

令和3年度

富山県東部消防組合一般会計
決算審査意見書

富山県東部消防組合監査委員

令和4年7月12日

富山県東部消防組合
管理者 村椿 晃 様

富山県東部消防組合

監査委員 石田 守

監査委員 森 弘秋

令和3年度富山県東部消防組合一般会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項及び第292条の規定により、審査に付された令和3年度富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算及び証書類その他政令で定める書類について審査したので、その結果について意見を提出します。

令和3年度富山県東部消防組合一般会計決算審査意見

1 審査の対象

(1) 歳入歳出決算書

令和3年度 富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算書

(2) 附属書類

令和3年度 富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算事項別明細書

令和3年度 富山県東部消防組合一般会計実質収支に関する調書

令和3年度 富山県東部消防組合一般会計財産に関する調書

2 審査の期日と場所

期日 令和4年7月7日

場所 富山県東部消防組合消防本部 2階会議室

3 審査の方法

審査は、令和3年度富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書、収支月計表、現金出納簿並びに関係諸帳簿、証書類について照合を行うとともに関係職員の説明を聴取して、計数の正確性、予算執行の適正性、収入支出の合法性及び執行内容の妥当性について審査した。

4 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算書及び附属書類等は、いずれも関係法令に準拠して作成され、その計数は関係諸帳簿と符合し正確であり、また、決算内容、予算執行状況についても適正であると認められた。

財産に関する調書と事務局及び各施設で保管する台帳等関係書類とを照合した結果、財産の管理状況は良好であると認められた。

なお、審査結果の概要と意見は、以下のとおりである。

5 決算の概要

令和3年度の一般会計の決算額は、予算総額 1,388,153,000 円に対し、歳入決算額 1,339,382,151 円(予算対比 96.5%)、歳出決算額 1,229,828,850 円(予算対比 88.6%)であり、差引形式収支額は 109,553,301 円である。前年度決算額と比較して歳入で 123,321,385 円の増、歳出で 72,199,513 円の増となっている。

この結果、歳入歳出差引残額は 109,553,301 円となり、翌年度へ繰り越すべき財源は 48,092,000 円、実質収支 61,461,301 円の黒字となっている。

なお、当年度実質収支 61,461,301 円から前年度実質収支 54,100,429 円を差し引いた当年度の単年度収支は 7,360,872 円の黒字となっている。

決算収支状況

(単位：円)

年度	会計	歳入 A	歳出 B	差引残額 C(A-B)	翌年度へ 繰越すべ き財源 D	実質収支 E(C-D)	前年度 実質収支 F	単年度 収支 G(E-F)
3	一般	1,339,382,151	1,229,828,850	109,553,301	48,092,000	61,461,301	54,100,429	7,360,872
	計	1,339,382,151	1,229,828,850	109,553,301	48,092,000	61,461,301	54,100,429	7,360,872
2	一般	1,216,060,766	1,157,629,337	58,431,429	4,331,000	54,100,429	39,646,447	14,453,982
	計	1,216,060,766	1,157,629,337	58,431,429	4,331,000	54,100,429	39,646,447	14,453,982
増	一般	123,321,385	72,199,513	51,121,872	43,761,000	7,360,872	14,453,982	△7,093,110
減	計	123,321,385	72,199,513	51,121,872	43,761,000	7,360,872	14,453,982	△7,093,110

なお、令和3年度における主要事業は下記のとおりである。

事業名	事業の内容
墜落制止用器具（防火衣安全帯）購入	労働安全衛生法の改正に伴い、従来規格の安全帯が令和4年1月をもって使用できなくなることから、新規格の墜落制止用器具の義務化に対応した安全帯を購入。
消防ネットワークシステムリース料（ネットワーク系システム更新）	令和2年度に、既存の消防ネットワークシステムを消防情報システムとして更新したネットワーク系システム（サーバー）に関するリース料。
消防合同庁舎空調設備設置工事	設置から27年経過し、経年劣化による故障が多く発生し、修繕料と保守委託料が高み、多目的ホールの利用にも支障をきたしていることから、新規に空調設備を設置。
消防合同庁舎非常照明修繕工事	非常照明が点灯しないため、取替修繕を実施。
救急隊員の感染防止対策における血液抗体検査・ワクチン接種	救急業務に従事する職員63名に血液抗体検査・ワクチン接種を実施。
消防本部感染防止対策資機材	感染防止対策として、リユース感染防止衣50着、N95マスク225箱の購入。
統合型発信地位置情報通知システム携帯用2ルート化	緊急通報があった際に発信地の特定を安定化させるために、NTTコミュニケーションズ回線とソフトバンク回線の2ルートによる通知システムを確立。
救急自動車積載用資機材（心臓マッサージシステム）	新型コロナウイルス感染症に伴う特定行為プロトコル（手順）が変更となり、救急隊員の感染防止対策として、救急車両に心臓マッサージシステム1台を積載したものの。

6 一般会計

令和3年度の一般会計決算額は、次のとおりである。

歳入 1,339,382,151円（予算対比 96.5%）

歳出 1,229,828,850円（予算対比 88.6%）

この差引残額（形式収支）109,553,301円から、翌年度へ繰り越すべき財源は48,092,000円、実質収支61,461,301円の黒字となっている。

なお、当年度実質収支61,461,301円から前年度実質収支54,100,429円を差し引いた当年度の単年度収支は7,360,872円の黒字となっている。

(1) 歳入

歳入決算状況は、次のとおりとなっている。

（単位：円）

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額 対 比	調定額 対 比
3年度	1,388,153,000	1,339,382,151	1,339,382,151	0	0	96.5%	100.0%
2年度	1,220,003,000	1,216,060,766	1,216,060,766	0	0	99.7%	100.0%

① 収入状況

予算額に対する収入割合は96.5%であり、前年度収入済額と比較して123,321,385円の増となっている。

収入の内訳は、分担金及び負担金で、収入額は1,227,425,270円で全体の91.6%を占めている。以下、使用料及び手数料が2,272,500円で0.2%、県支出金が8,019,007円で0.6%、繰越金が58,431,429円で4.4%、諸収入が233,945円で0.01%、組合債が43,000,000円で3.2%となっている。

また、調定額に対する収入割合は100.0%で、収入未済額は0円となっている。

収入状況は、次の表のとおりである。

収 入 状 況

（単位：円）

区 分	予算額	調定額	収 入 済 額				不納 欠損額	収入 未済額
			金 額	構成比 (%)	予算対 比 (%)	調定対 比 (%)		
1. 分担金及び負担金	1,227,669,000	1,227,425,270	1,227,425,270	91.6	100.0	100.0	0	0
2. 使用料及び手数料	1,312,000	2,272,500	2,272,500	0.2	173.2	100.0	0	0
3. 県支出金	19,935,000	8,019,007	8,019,007	0.6	40.2	100.0	0	0
4. 繰越金	58,433,000	58,431,429	58,431,429	4.4	100.0	100.0	0	0
5. 諸収入	198,000	233,945	233,945	0.0	118.2	100.0	0	0
6. 組合債	43,000,000	43,000,000	43,000,000	3.2	100.0	100.0	0	0
7. 国庫支出金	37,606,000	0	0	0.0	0.0	0.0	0	0
計	1,388,153,000	1,339,382,151	1,339,382,151	100.0	96.5	100.0	0	0

② 財源構成

歳入総額を使用料及び手数料、繰越金、諸収入からなる自主財源と、分担金及び負担金、県支出金からなる依存財源に分類してみると、自主財源は 60,937,874 円、依存財源は 1,278,444,277 円となっており、その構成比は、自主財源 4.5%、依存財源 95.5%となっている。

また、財源構成を一般財源と特定財源に分類してみると、その構成比は、一般財源 96.0%、特定財源 4.0%となっている。

第 1 款 分担金及び負担金

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額 対比	調定額 対比
3年度	1,227,669,000	1,227,425,270	1,227,425,270	0	0	100.0%	100.0%
2年度	1,171,446,000	1,167,114,553	1,167,114,553	0	0	99.6%	100.0%

収入済額は 1,227,425,270 円で、歳入総額に占める割合は全体の 91.6%となっており、収入済額の内訳は、組合構成市町村からの組合運営費負担金で、魚津市 533,460,000 円、滑川市 365,632,000 円、上市町 277,193,000 円、舟橋村 51,140,270 円となっている。

第 2 款 使用料及び手数料

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額 対比	調定額 対比
3年度	1,312,000	2,272,500	2,272,500	0	0	173.2%	100.0%
2年度	1,312,000	1,547,250	1,547,250	0	0	117.9%	100.0%

収入済額は 2,272,500 円で、歳入総額に占める割合は全体の 0.2%となっており、収入済額の内訳は、危険物施設設置許可検査手数料等で魚津市分 688,650 円、滑川市分 1,057,350 円、上市町分 488,700 円、防火管理講習修了証再交付手数料等 1,200 円となっている。

第 3 款 県支出金

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額 対比	調定額 対比
3年度	19,935,000	8,019,007	8,019,007	0	0	40.2%	100.0%
2年度	7,400,000	7,547,842	7,547,842	0	0	102.0%	100.0%

収入済額は 8,019,007 円で、歳入総額に占める割合は全体の 0.6%となっており、収入済額の内訳は、県消防学校派遣職員負担金となっている。

なお、翌年度へ救助工作車Ⅱ型購入事業を繰り越し（繰越明許事業）としたため、本年度の歳入は無しとなっている。

第4款 繰越金

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額 対比	調定額 対比
3年度	58,433,000	58,431,429	58,431,429	0	0	100.0%	100.0%
2年度	39,647,000	39,646,447	39,646,447	0	0	100.0%	100.0%

収入済額は 58,431,429 円で、歳入総額に占める割合は全体の 4.4%となっており、収入済額の内訳は、令和2年度繰越金となっている。

第5款 諸収入

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算 額対比	調定額 対比
3年度	198,000	233,945	233,945	0	0	118.2%	100.0%
2年度	198,000	204,674	204,674	0	0	103.4%	100.0%

収入済額は 233,945 円で、歳入総額に占める割合は全体の 0.01%となっており、収入済額の内訳は、共済事務等手数料 105,196 円、講習会場提供謝礼 60,000 円、気象観測謝礼 32,100 円、その他 36,649 円となっている。

第6款 組合債

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算 額対比	調定額 対比
3年度	43,000,000	43,000,000	43,000,000	0	0	100.0%	100.0%
2年度	0	0	0	0	0	0%	0%

収入済額は 43,000,000 円で、歳入総額に占める割合は 3.2%となっており、収入済額の内訳は、一般補助施設整備費事業債（救助工作車Ⅱ型購入事業）43,000,000 円となっている。

第7款 国庫支出金

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算 額対比	調定額 対比
3年度	37,606,000	0	0	0	0	0%	0%
2年度	0	0	0	0	0	0%	0%

翌年度へ救助工作車Ⅱ型購入事業を繰越し（繰越明許事業）としたため、本年度の歳入は無しとなっている。

(2) 歳出

歳出決算状況は、次のとおりとなっている。

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
3年度	1,388,153,000	1,229,828,850	98,233,000	60,091,150	88.6%
2年度	1,220,003,000	1,157,629,337	4,331,000	58,042,663	94.9%

支出状況

予算額に対する執行率は88.6%であり、前年度支出済額と比較して72,199,513円の増となっている。

イ 支出の内訳

組合議会費 299,011 円、組合運営費 170,728 円、監査委員費 49,320 円、職員給与費 869,120,158 円、消防本部運営費 102,984,552 円、魚津署運営費 21,240,904 円、滑川署運営費 11,898,347 円、上市署運営費 12,969,078 円、舟橋分遣所運営費 7,094,137 円、消防本部施設整備費 7,717,600 円、魚津署施設整備費 113,454 円、滑川署施設整備費 1,511,400 円、起債償還元金 134,956,000 円、起債償還利子 3,682,732 円である。

支出状況は、次の表のとおりである

支 出 状 況

(単位：円)

区 分	予算額	支 出 済 額			翌年度 繰越額	不用額
		金 額	構成比	執行率		
			(%)	(%)		
1. 議会費	913,000	299,011	0.0%	32.8%	0	613,989
2. 総務費	344,000	220,048	0.0%	64.0%	0	123,952
3. 消防費	1,191,185,000	1,034,599,630	84.1%	86.9%	98,233,000	58,352,370
4. 公債費	138,639,000	138,638,732	11.3%	100.0%	0	268
5. 予備費	1,000,000	0	0.0%	0.0%	0	1,000,000
6. 諸支出費	56,072,000	56,071,429	4.6%	100.0%	0	571
計	1,388,153,000	1,229,828,850	100.0%	88.6%	98,233,000	60,091,150

ロ 性質別の内訳

義務的経費では、人件費で858,949千円(69.8%)、物件費で143,955千円(11.7%)、維持補修費で2,045千円(0.2%)、扶助費で12,190千円(1.0%)、補助費等で66,025千円(5.4%)、公債費で138,639千円(11.3%)、義務的経費全体では1,221,803千円となり、決算総額の99.4%を占めている。

投資的経費では、普通建設事業費で 8,026 千円となり、決算総額の 0.6%を占めている。

性質別経費の状況

(単位：千円)

区 分	3年度決算額	構成比
1 人件費	858,949	69.8%
2 物件費	143,955	11.7%
3 維持補修費	2,045	0.2%
4 扶助費	12,190	1.0%
5 補助費等	66,025	5.4%
6 公債費	138,639	11.3%
うち元金	134,956	11.0%
うち利子	3,683	0.3%
計	1,221,803	99.4%
7 投資的経費	8,026	0.6%
普通建設事業	8,026	0.6%
うち単独事業	8,026	0.6%
歳出合計	1,229,829	100.0%

第1款 議会費

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
3年度	913,000	299,011	0	613,989	32.8%
2年度	913,000	252,298	0	660,702	27.6%

支出済額は 299,011 円で、歳出総額に占める割合は全体の 0.02%となっている。

不用額は 613,989 円で、予算額に対する執行率は 32.8%となっている。

執行率低下の要因は、新型コロナウイルスの流行のため、議員消防行政視察を自粛したことによるものである。

第2款 総務費

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
3年度	344,000	220,048	0	123,952	64.0%
2年度	344,000	180,626	0	163,374	52.5%

支出済額は 220,048 円で、歳出総額に占める割合は全体の 0.01%となっており、支出済額の内訳は、組合運営費 170,728 円、監査委員費 49,320 円となっている。

不用額は 123,952 円で、予算額に対する執行率は 64.0%となっている。

第3款 消防費

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
3年度	1,191,185,000	1,034,599,630	98,233,000	58,352,370	86.9%
2年度	1,072,702,000	1,012,595,334	4,331,000	55,775,666	94.4%

支出済額は1,034,599,630円で、歳出総額に占める割合は全体の84.1%となっており、支出済額の内訳は、職員給与費869,120,158円、消防本部運営費102,984,552円、魚津署運営費21,240,904円、滑川署運営費11,898,347円、上市署運営費12,969,078円、舟橋分遣所運営費7,094,137円、消防本部施設整備費7,717,600円、魚津署施設整備費113,454円、滑川署施設整備費1,511,400円となっている。

翌年度繰越額は98,233,000円で、救助工作車Ⅱ型購入事業となっている。

不用額は58,352,370円で、予算額に対する執行率は86.9%となっている。

第4款 公債費

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
3年度	138,639,000	138,638,732	0	268	100.0%
2年度	145,044,000	144,601,079	0	442,921	99.7%

支出済額は138,638,732円で、歳出総額に占める割合は全体の11.3%となっており、支出済額の内訳は、起債償還元金134,956,000円、起債償還利子3,682,732円である。

不用額は268円で、予算額に対する執行率は100.0%となっている。

なお、令和4年3月末現在で、起債償還残高は元金で658,146千円となっている。

第5款 予備費

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
3年度	1,000,000	0	0	1,000,000	0%
2年度	1,000,000	0	0	1,000,000	0%

令和3年度において予備費の執行は無かったため、不用額1,000,000円、執行率0.0%となっている。

第6款 諸支出費

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
3年度	56,072,000	56,071,429	0	571	100.0%
2年度	0	0	0	0	0%

前年度からの繰越金を構成市町村へ返還金として返還したため、執行率100.0%となっている。

7 財産管理

(1) 土地について
該当なし

(2) 建物について（令和3年度中の異動なし）

本部通信指令センター 延床面積 579.01 m²

上市消防署舟橋分遣所 延床面積 273.04 m²

天神山基地局 延床面積 5.85 m²

(3) 物品について（令和3年度中に取得した1件10万円以上）

	区 分	数 量
(魚津署)	事務用チェアー	5
	空気ボンベ (ALT-603 J 150)	4
	消防用ホース (65 mm)	8
	熱画像直視装置	1
	潜水用器具 (ウエットスーツ)	2
	空気呼吸器 (A1-12-C X)	1
(滑川署)	消防署現場用ホース (50mm×20m)	5
	消防署現場用ホース (65mm×20m)	5
(上市署)	空気呼吸器用ボンベ (530CⅢAZ)	2
	消防署現場用ホース (65mm×20m)	3
(舟橋分遣所)	救急自動車積載用資機材 (心臓マッサージシステム)	1

8 意見

全体として、予算の執行は適正であると認められるが、一部の事業において、予算に対し、不用額の多いものが見受けられる。様々な要因があると思うが、予算を適切に計上し、その事業の目的が最大限に生かされるように執行されたい。

また、新型コロナウイルス感染症拡大により社会経済活動が低迷し、構成市町村の財政状況はますます厳しい状況となっていく事が予測される。より一層の節減にも努められたい。

なお、契約事務については、入札・随意契約によるもの問わず、適正かつ厳正に実施し、地域住民の疑惑を招くことのないよう対応されたい。

9 むすび

以上、令和3年度富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算審査についてその概要と意見を述べた。

審査に付された歳入歳出決算書及び付属書類等はいずれも関係法令に準拠して作成され、決算内容、予算執行状況についても適正に処理されていた。

本部各署においては、消防広域化のメリットを十分に生かし、合理的かつ効率的な予算執行となるよう努められたい。

また、近年では大きな地震や風水害などが相次いでおり、地域社会の安全・安心と地域住民の生命・財産を守るべく、社会使命を果たされるよう防災力・消防救急体制の充実強化にも努められたい。

本年1月、5月に起きた不祥事を受け、先日、全職員対象の研修が行われたとのことであるが、これからも職員一人ひとりがコンプライアンス意識を徹底するとともに不祥事の再発を防止し、住民から信頼される組織の構築に努められたい。